

「段戸裏谷原生林」



愛知県の北設楽郡設楽町に位置する段戸国有林。そのほぼ中央に樹齢約二〇〇年を超えるブナ・ミズナラ等の広葉樹、モミ・ツガ等の針葉樹の巨木の育つ貴重な天然林があります。

ここは「段戸裏谷原生林」と呼ばれ、面積約一三〇鈔の林内に東海自然歩道が通り、森林浴を楽しみながら散策するなど、自然観察の場として広く利用されています。

また、この原生林は通称「きららの森」と呼ばれています。段戸の地形を造っている嶺家変麻岩や花崗岩の主鉱物である雲母が地表に現れ、太陽の光を受けてキラキラと輝くことからそのように呼ばれています。

春には、モミ・ツガの間から暖かい陽光が差し込み、オオカメノキ・シロモジ・アブラチャンがつばみを膨らませ、

樹上では繁殖期を迎えるウグイス・キビタキ・オオルリ等の小鳥のさえずりが盛んになります。

原生林の入り口には、澄んだ水をたたえる「段戸湖」があり、フライフィッシングを楽しむこともできます。

夏は、森林浴の最も良いシーズンで、林の中は涼風とともに元気をくれる場所となります。

また、原生林の近くには、平成十二年に豊川市がオープンさせた野外センター「きららの里」があります。大小七棟のログハウス、屋根付き広場や野外炊事場があり、避暑に訪れる市民や野外教育でキャンプに来る児童たちで大いににぎわっています。

秋には、沢筋にカエデ類の紅葉が見られるものの、どちらかと言うと「黄葉」の方がふさわしくブナ・ミズナラ・シロモジなどの黄色が鮮やかです。

このように、段戸裏谷原生林は、一年を通じて自然とふれあうことができる国有林です。

◇アクセス方法

「名古屋方面からの場合」

東海環状自動車道 豊田勘八インターまたは猿投グリーンロード力石インターから、国道一五三号線を東に走り、「今朝平」交差点から、県道「瀬戸設楽線」を設楽方面へ

「豊橋・長野方面からの場合」

国道二五七号線を設楽町田口で県道「瀬戸設楽線」へ入り、瀬戸・名古屋方面へ



段戸湖



「きららの里」